



創刊：昭和24年11月
発刊：社会福祉法人 子供の町
児童養護施設 子供の町
児童養護施設 エンジェルホーム
地域小規模養護施設 菜の花
住所：〒344-0112
埼玉県春日部市西金野井337
TEL：048-746-0206
FAX：048-746-9215
HP：<https://kodomonomachi.jp/>

「職業的自立と教育」

齊之平伸一

私は、長年、製菓会社で入社面接を行ってまいりましたが、中には、社会的、職業的自立を考えていない人もあり、残念な気持ちになります。

高校入学がゴールで、卒業間近になるまで、就職のことを考えていない。これでは、希望する会社に入れる人、希望する職種に就ける人は少なくなります。イメージばかりが先行し、職業選択を十分に考えていない場合、例え就職できたとしても、早期離職につながります。早期離職は、本人にとっても、社会にとっても損失です。

私は、小学生から真のキャリア教育を開始すべきと考えています。それには、地域の社会の課題を知る授業が効果的です。日本は、少子高齢化、地域社会・家庭の絆の弱体化、社会保障の行き詰まり、産業の空洞化など社会経済構造の課題を多く抱えています。その現場に行き、説明を受けることで、志が芽生えてきます。社会からの要請に答える志が、揺るぎない人生の方向性を決めてくれます。会社見学、体験活動を通じて、自分がどのような分野に熱中できるか、何が得意かを気づき、それを記録することが大切です。私が埼玉県教育委員会委員長を務めていた頃、小中学校で、「私の志ノート」を導入しました。

「私の志ノート」とは、児童生徒一人一人が、キャリア発達に関するワークシートなどを自分自身でまとめ、記録・保管する。そして、各学校が児童生徒一人一人の発達の状況を的確に把握し、きめ細やかな支援を行うために、児童生徒のキャリア発達に関する情

報を、次の学年や小学校から中学校へ引き継げるようにする。「私の志ノート」は、「個に応じた教育」つながります。

私が訪問したドイツ、オランダの小中学校は、「私の志ノート」に相当するポートフォリオを活用しておりました。児童・生徒の成長の記録を各人毎にファイルし、学校と家庭の情報共有にも使っておりました。ドイツでは、中学校に入学するときに将来的に職業教育に接続するコースか、大学進学を目指すコースかの選択を迫られます。ですから、将来どのような仕事に就きたいのか、子供たちは早い段階で職業世界について学び、先生と話し合うようになっております。

次号へ 続く

「正月帰省に思う」

子供の町 施設長 根岸 昇

寒中お見舞い申し上げます。
定員削減により法人が経営する児童養護施設3施設合計151名定員にして初めてのお正月、100名の子どもたちが「子供の町」で新しい年を迎えました。冬休み中に親族のもとに帰省(外泊)した子どもたちは合計44名(在籍141名の31%)、面会もなかった子どもたちは68名(48.2%)という状況でした。3年前までは面会・帰省ともなかった子どもは35~38%でしたので、10ポイント増加しています。帰省できない理由は「被虐待等で児童相談所の許可が得られない」36名(44.4%)が最も多い状況です。8年前は13%だった

「被虐待等で児童相談所の許可が得られない」ケースが、3倍以上に増えています。かつては「せめてお正月は1泊でも親子で一緒に過ごそう」という親心で、時間とお金を用立てた親の姿が今は見ることが出来なくなっています。

お正月という特別感のある時期の帰省ですが、子どもたちにとってその実態は実に様々です。帰省から戻り久しぶりに職員に会ったY（小5）さんは「もう僕は喧嘩しない」と自分から話してきたそうで、その後も「他児へのいじわるや暴力はなく、喧嘩にもまったくならない」落ち着きぶりです。ゲームが使えない日であったにも関わらず、今までのようにゴネルこともなく理解を示したそうです。家庭引き取りを調整しており、帰省中もリラックスして過ごし、親子で引き取りに向けての話しが出来た様子もうかがえます。

初めての帰省が「警察通告」事案となったT（小5）さんは、元日に父方祖父宅で祖父が実母に手を挙げた場面を目撃し、予定より2日早く施設に帰園しました。「（父方祖父が）怒鳴っているのがとても怖かった」と職員に話し、児童相談所からは本児の安全確認がありました。表面的には大きな影響は見受けられず登校もしていますが、時間の経過の中で今後の言動に少なからず影響を及ぼすことになるかもしれません。

さて、1月7日は春日部市の成人式典の日。今年も卒園生の成人を迎えるために部屋を用意し、職員がお花・お菓子・飲み物を用意してくれました。高校・支援学校高等部を卒業した子どもたちだけではなく、家庭引き取りになった子どもたちも含めて17名。実際に私が対応した卒園生は男女1名ずつでした。その一人は「20歳になるまでは母親に会わせない」と父親から言われていた女性です。彼女の母親は私が小学5年生から中学卒業まで児童指導員として担当した卒園生。離婚後、親権者となった父親からのSOSで2歳と5歳の姉妹を緊急一時保護し、そのまま施設保護を継続しました。

母親の担当職員でもあり成人卒園生の担当である主任（保育士）は、事前に親権者である父親の了解のもとで母親に連絡し、この日、実父母・姉妹の親子4人が15年ぶりに再会したのです。母親は「生きていて良かった。」と笑みを浮かべながら語りました。姉の顔立ちが母親にとっても良く似ていることをお互いに確認し合い、再会の光景に私も目頭が熱くなりました。今春、妹が高校卒業＝偉業？を成し遂げ、2年後に晴れ着姿で来訪することを願うばかりです。

「肩の力を抜いた関係」

エンジェルホーム施設長 高橋育弘

昨年はあたたかいご支援ありがとうございました。皆様のおかげで無事に新しい年を迎えられることに感謝を申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

お正月はゆっくりと過ごせましたでしょうか。子供の町・エンジェルホームでも、ゆっくり過ごせた子どももいれば、中学3年生や高校3年生にとっては大切な進路選択の時期になります。中学3年生は、高校進学に向けて遅くまで学習塾に通いながら受験勉強を頑張っています。高校3年生は、自立に向けて就職活動や専門学校進学、そして新たな住居を探すことになります。子ども達にとっては期待と不安が入り交じった時期でもあると思います。特に「自立」を意識するようになるのが、年度末であるような気がします。

この自立ですが、私が児童指導員（指導という言葉は好きではありませんが…）として子どもたちと生活する中でずっと考え続けてきたことの一つになります。「自立とは何ですか？」と質問すると答えはそれぞれ異なります。辞書やインターネットで一度、意味を調べてみてください。あるところでは「他への従属から離れて独り立ちすること。他からの支配や助力を受けずに、存在すること。」と記載されているものもあります。私には、誰にも力を借りずに一人で存在するなんて全く考えられません。私には納得できなかったので、施設での生活を通して自立を支援するとはどのようなことを軸として考えていったら良いのか悩みながら子どもたちと一緒に生活をしていました。自立についてあまり深く考えていない頃は、正直なところ、掃除や洗濯などの生活技術や施設の日課やルールを守るというような表面的な部分しか見えていませんでした。大人側からすると、「掃除や洗濯ができた方が良いし、規則正しい生活をするのも大切であるし、社会に出ればルールはあるので施設でも守ることが大切である。」と言う。確かにその通りであり何も言い返せないかもしれない。けれど、私が子ども時代に同じセリフを言われたら反抗していたような気がします。何だか綺麗ごと過ぎるような気がするからです。他にも自立にとって大切な何かがあるような気がしますませんか…。

この自立を考える上で、大切になってくることとして、自分自身を良く知ることであると思います。自分のことは自分が一番良く分かっているように思うかもしれませんが、意外と見えていない、見ようとしない部分があるはずで、私は誰にも力を借りずに存在

することはできていません。色々な方(関わっているすべての大人や子どもたち)から力を少しずつ借りながら存在できていると強く感じています。ですので、私は「信頼できる大人の力を借りるスキル」を習得できるような支援を軸に考えていきたいと悩んだ挙句にたどり着いたのでした。

大人になると、見栄を張りたくなりますし、格好良い大人として一人で何でもできる場所を見せたくなるものもあると思います。しかし、支援者として子どもの前に立つ立場としては、このことが自分の首を絞めるような辛い状況を作ってしまうのだと思います。「人に頼らずに自分のことは自分でやりなさい」と子どもたちに伝える立場になってしまうと職員自身が人に頼ることが難しくなります。子どもたちは大人の姿を良く見ていますからね。見栄を張らずに、余裕のない時は自分の不得意な分野は誰かに頼り、得意分野は誰かの代わりに担う、そんな“肩の力を抜いた関係”を大人も子どもも生活の中で一緒に積み重ねていけたら良いのではと思います。職員だから…。大人だから…。子どもだからという垣根を越えて…。一人の人間として…。

長くなってしまいましたが、「自立」に関する価値観は本当に人それぞれ異なります。その人の生きてきた時代や成育歴にも大きく左右されます。一度、自分自身の考えを整理して、周りの人と意見交換をしてみても面白いかと思います。



冬休みを終えて

5B寮 保育士 曾原 瑞恵

今年度の冬休みは、ディズニー外出やクリスマス会、年越し、初詣等多くの行事に直接関わらせて頂きました。夏休みと比べると期間は短いものの行事やお楽しみの多い冬休みであったと感じます。

特に印象に残っているのは、年越しの様子です。いつもより遅く起きていられるというのは、やはり特別感があるようで、そわそわ、わくわくした空気が、私にも伝わってきました。おせち作りをしている所を興

味津々にのぞきに來たり、何のテレビを見るかで一悶着あったりと、自分にも身に覚えのあるような年末を子ども達とゆったり過ごす事が出来たと思います。

学校がなく子どもと過ごす時間も多いため、昨年度と比べて成長にハッとさせられる場面もありました。

今後も子どもと共に成長できるような年にしていきたいと思います。

冬休みの思い出

5B寮 小5 K.M

私は、冬休みの思い出が二つあります。

一つ目は、12月25日のダンスクラブのイベントです。

ウエルガーデン春日部で、フラダンスを踊ったり、クリスマスソングを歌ったりしました。その後、ダンスクラブの皆で、アゲハ・恋いダンス・イエイエイエイエイマツリ・ハピネスを踊りました。

楽しかったです。

二つ目は12月26日にディズニーランドに行ったことです。

最初にアリスのコーヒーカップに乗りました。ぐるぐる回って目が回りました。次に海賊の船に乗りました。海賊がいっぱいいて怖かったです。次にホーンテッドマンションに乗りました。可愛いおぼけや怖いおぼけもありました。

最後にビッグサンダーマウンテンに乗りました。坂が一番怖かったです。すごいスリルのあるジェットコースターでした。

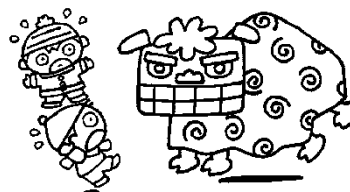
また、来年も行きたいです。

年末年始の思い出

5B寮 高3 K.Y

私が15年間過ごした中で、特に思い出に残っていることは、12月にディズニーランドに行ったことと、1月にイオンに行ったことです。ディズニーランドでは、今まで乗ったことのないアトラクションに乗ったり、沢山買い物できました。欲しかった物がいくつか買えたこともあり印象に残っています。

イオンにはお年玉を使って買い物に行きました。買い物に行ったときは、特に欲しい物がなかったのですが、好きなリラックマの新しいペンが買えたのが良い思い出になっています。



冬休みの思い出

たんぼぼ寮・高1 M.R

僕はクリスマスで、楽しかった事は、ビンゴ大会で大人が数字を引いたときに、最初から数字がでませんでした。最後は勝てると思いましたが、負けてサンタの洋服を着ました。写真を撮りました。でも楽しかったです。クリスマスプレゼントでラジカセとCDがきました。

お正月に神社に行きました。おみくじを引きました。僕は「末吉」が出ました。僕は「大吉」が出て欲しかったです。僕はお年玉13000円貰いました。僕はお年玉で3DSとカセットを買いました。

僕は大晦日にダウンタウンガキの使いアメリカンボリスを見ました。僕は田中と浜田とベッキーがタイキックされたところが面白かったです。

僕は、外出で東京のスケートに行きました。初めてやりました。最初は上手くできませんでしたが、やっているうちに慣れてきてスピードが出てきて速くなって途中でこけましたけど楽しく遊べました。

クリスマスとはつもうで

ひまわり寮・年長 E.H

くりすますかいで、びんごをして、しーるをもらってかわいかったよ。「あかいはなのとなかみ」のだんすをみんなでかんがえておどってたのしかったよ。しょーとけーきがあまくておいしかったな。さんたさんからのくりすますふれぜんとがたのしみで、よるおきたらふれぜんとがあったよ。うれしかった

はつもうでにあるいていったよ。じんじゃでならぶのをゆずったら、おぼさんがきれいなかみでつくったつまようじいれをくれてうれしかったよ。おまいりをするとき、おかねをいれるのがたのしかったよ。つぎのくりすますには、おねえちゃんとおなじわんぴーすがもらえるようにおねがいたよ。おみくじをふるのがおもしろかったよ。「きち」がでたよ。じんじゃがきれいだったよ。あるいていつてつかれたけど、みかんをもらってたべておいしかったよ。

冬休みの思い出

ひまわり・たんぼぼ寮 主任 本澤昌子

たんぼぼ寮のクリスマス会は、サンタの姿になった子ども達が雰囲気盛り上げ、ビンゴをして大いに楽しみました。元旦には初詣、二日には映画外出・三日にはお年玉で好きな物を買に行きました。今年はゲームカセットを買う子が多かったです。

七日には、スケート外出や外食をして楽しんで来ました。

ひまわり寮のクリスマス会は、歌とダンスを披露してくれる子がいて可愛らしかったです。元旦に香取神社に初詣に行きました。中学生が幼児の歩くペースに合わせてくれ、とても優しい一面が見られました。おみくじは、一人が「大吉」その他全員は「吉」とおめでたい！！去年は「凶」を引く人が多かったので今年は良い年になりそうです(願望)。面会や帰省のない子で、買い物と映画を見に行きました。クリスマスにケーキや玩具等の寄贈品を多くの皆様から頂き、子ども達は喜んでいました。ありがとうございました。

冬休みを終えて

ゆり寮 大沼泉美

1年目の私にとっては、今回が子ども達と過ごす初めての冬休みでした。(冬休みは短い期間にイベントや外出も多く、普段とはやや違った日課になるということでも不安もありましたが、とても楽しく、より密な時間を子ども達と過ごす事が出来ました。)

クリスマスは子ども達がとても楽しみにしていたイベントで、冬休みの前からプレゼントを何にしようか考え、サンタさんへの手紙を一生懸命書いている子ども達の姿を何度も目にしました。プレゼントを貰った日は、幼児も学童もとても嬉しそうにしていたのを覚えています。又クリスマス会は、ユニット合同で行い、賑やかで温かな雰囲気です。食事やビンゴを楽しむことができました。

大晦日は、皆でおそばを食べ、学童は普段できない夜更かしをいっぱいして年を越していました。お正月にはおせちやお雑煮を寮の皆で食べたり、書き初めをしたりしていました。「お正月」という特別感を各々が感じ、満喫していたように感じます

(冬休みは・・・できました。)今後もこの経験を大切に、子ども達がプラスの気持ちで生活できるよう励んでいきたいです。

冬休み

すみれ寮・中2 I.K

私の冬休みの思い出は二つあります。

一つ目は、作文の表彰式に出席したことです。私は、夏休みの課題の一つであった「社会を明るくする運動」の作文で、保護観察所長賞という賞を頂くことができました。もうこのような賞を取ることができないかもしれないので、この冬休み出席した表彰式は大変貴重な体験になりました。

二つ目は、一月二日に同じ寮の皆と初詣とカラオケに行ったことです。初詣では、岩槻にある神社に行きました。そこで、地下拝殿にお戒壇めぐりをしました。

これはお経を唱えながら地下を歩くことです。でも、地下は真っ暗で、皆のお経を唱えるどころではありませんでした。神社の後、カラオケに行きました。二部屋だったので、沢山歌うことができました。とても楽しい一日を過ごす事が出来ました。

部活や勉強で大変だったけど、とても充実した冬休みを過ごす事が出来ました。

クリスマス会

さくら寮 宇賀神麻菜美

12月24日に寮の皆出クリスマス会をしました。職員で夕食の準備をしている姿を見て、子ども達も沢山手伝ってくれました。スパゲティーにおにぎり、サンドイッチ、チキンとともに沢山の御飯に子ども達も喜んでいました。

会の途中で、子ども達が一生懸命テレビ等を見ながら覚えたダンスを披露してくれました。他にも、ビンゴゲームをして賞品を貰い、皆喜んでいました。

子ども達もずいぶん前からダンスの振りを一生懸命覚えようとしている姿を見て、楽しみにしているのが伝わってきました。当日も見ている子も、踊っている子も楽しそうでした。お腹いっぱいになり、とても楽しいクリスマス会になりました。

クリスマス会

さくら寮 ・小4・Y.H

私の冬休みの一番の思い出は、クリスマス会です。クリスマス会は、司会をやりました。発表では「TTダンス」をやりました。幼児さんと一緒に踊って楽しかったです。

そして、御飯はお肉と野菜とポテトとサンドイッチとおにぎりでした。1寮皆でビンゴもやりました。景品は、ハンカチとヘアゴムメモ帳でした。今年のクリスマス会は、とても楽しかったです。クリスマスプレゼントも可愛かったです。

穏やかな冬休みを振り返って

菜の花 主任 平塚美加子

高学年以上の子どもが5人の菜の花の冬休みは、とても穏やかに時間が流れていったように思います。

終業式、クリスマス、お正月と子ども達にとっては楽しいことだらけの冬休み。日頃部活や塾で忙しい中学生、バイトにいそしむ高校生もみんなでお過ごし時間を共有することができました。

クリスマスには、サプライズプレゼントを下された

卒園生がいてくださったり、お正月には、手作りおせちにお餅の数々、夜には東武動物公園のイルミネーションを満喫しました。夜の外出は初めてだったと限定日のイルミネーションを楽しめたことはとても良かったなど私達も嬉しく思いました。

また年頭にあたり、おせちを食べながら今年目標をそれぞれ言えたことも印象に残ります。でも、子ども達は頂いたお年玉で好きな物を買えたことや、田中会長のご寄付で観たい映画が観れたことが幸せだったことでしょう。ありがとうございました。

冬休みの思い出

菜の花 中2 S.A

2018年1月1日から私達は東武動物公園に行きました。しかも夕方の4時に家を出発しました。こんな時間に家を出てどこかへ出かけるというのは、初めてだったので少しワクワクしました。最初はイルミネーションを見ることが目的だったけれど、フリーパスを取り色々な乗り物に乗りました。私は人生で初めてカワセミに乗りました。カワセミ自体緑に光っていて更に登っていく時に見た景色は、イルミネーションで綺麗に輝いていて、とても美しかったです。でも落ちたら恐怖しかありませんでした。もう1回乗ろうとなったのですが、私は乗る気がありませんでした。暗い夜に輝くイルミネーションは、とても幻想的でした。帰りはクタクタだったけれど、とても充実した1日になりました。

沢山楽しんだ冬休みだったので、これからの部活も頑張ろうと思いました。

冬休みで楽しかったこと

菜の花 小6年 S.M

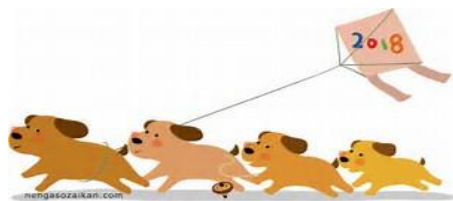
私は1月2日「流山おおたかの森」に行ったことが、楽しかったです。私はこの先学校で使う可愛い文具とドリルを買いました。ドリルは算数です。可愛い文具は、筆箱とパスケースです。

他にも欲しいものがありました。私は算数が苦手なので、6年生の内に沢山復習をして得意にしようと思います。

もうひとつ楽しかったことは、1月3日に映画を観たことです。私達が観たのは「鎌倉ものがたり」です。修学旅行で行った鎌倉のお話でとても面白くて感動しました。私でも理解できるお話でした。鎌倉ものがたりは、「愛」のお話だったと思います。

小学校最後の冬休み楽しく過ごせたと思います。中

学に入ったら忙しくなるかもしれないけど、楽しみたいと思います。



冬休みを振り返って

エンジェルホーム
5A寮 高橋 靖文

12月下旬になると子どもたちはとてもソワソワし始め、「クリスマスには〇〇を貰う」や「冬休みは〇〇して過ごす」、「お年玉は〇〇に使う」と言う会話が飛び交い、大はしゃぎの様子で冬休みを迎えました。

そんな中、12月24日に子ども主催のビンゴ大会を開催したいと小学生から提案があり、寮内への事前告知や準備、当日の司会進行や景品配りとしっかりと勤め上げ、大盛況のうちに終える事が出来ました。

年末にちょっとしたハプニングでテレビ室のテレビが壊れてしまい、みんなで一緒にテレビを見ることは出来ませんでした。それでも各部屋に分かれてそれぞれ楽しみにしていたテレビ番組を仲良く見ました。

元旦には、帰省できなかった子どもたち7名が一堂に会し、おせち料理やお雑煮を頂き、香取神社へ初詣。各々今年の目標や願い事をしてきました。

1月3日には外出で中学生は春日部イオンで映画鑑賞、小学生は流山おおたかの森で室内での砂場遊びやクレーンゲーム、プリクラ撮影とそれぞれ楽しみました。

計画的に宿題をやり終えられましたし、日常生活では喧嘩をしたり仲直りをしたりと慌ただしい日々でしたが、何よりも大きな怪我や病気もなく、毎日外遊びや縄跳びをして過ごし、皆が元気に新学期を迎えられてホッといたしました。

冬休みについて

すいせん寮・小5 F. K

私は冬休み時に、クリスマスプレゼントで「飛び出せ動物の森などに使う amiibo (フィギュア) をもらいました。その amiibo を個々では使わずに、家に帰省したときに使用しました。

家に帰省したときに雪が降りました。生れて初めてお正月に雪が降り、驚きました。お正月にお餅を沢山食べました。一キロ近く食べました。大掃除の時は、

普段はあまりやらない鏡を拭いたり、壁の物をいる物、いらぬ物で分けたりしました。部屋が綺麗にピカピカになったので、良かったです。その他にもクリスマスの時に子供の町の方で、クリスマスパーティーをしたり、BINGO をしたりしました。とても楽しかった冬休みになれて良かったです。

来年も楽しい冬休みにしたいです。宿題や課題もしっかり終わらせたいです。

冬休み楽しかったこと

ゆり寮 中1 H.K

私は今年の冬休みを満喫出来たと思います。その理由として特に楽しかったことが二つあります。

一つ目は、クリスマスです。杏寮では24日クリスマスイヴにクリスマスパーティーを行いました。そこでビンゴ大会などをしました。景品も沢山入っていて、とても楽しいクリスマスでした。

二つ目は、お正月です。大晦日は、2時まで起きていました。

1月1日の元日の朝は、おせちとお雑煮を食べました。1月3日は、皆で初詣に行きました。そこでおみくじを引いて「吉」でした。とても楽しいお正月でした。他にも、お年玉で買い物に行ったり、皆で外に行って遊んだりしました。

冬休みが終わって三学期が始まりました。冬休みの生活とは切り替えてしっかり勉強や部活に励みたいと思います。

7寮 飯田 涼介

男の子たちが暮らすわかば寮・あおば寮では、今年度もクリスマスパーティーが開催されました。12月に入ってから子ども達に希望の献立を募り、当日は皆で一緒に夕飯作りをしました。

テーブルにはハンバーグやフライドポテト、シャンメリー、クリスマスケーキなどが所狭しと並び、とても豪華な食卓。子ども達も大盛り上がりでした。ご馳走に舌鼓を打ちパーティーも佳境となると、ビンゴ大会の開催です。最年長の高校2年生がビンゴを回すと、耳を澄ましてビンゴシートとにらめっこ。

子ども達は、伝えられた数字に一喜一憂です。当たった賞品に大喜びのちびっ子や、苦笑いを浮かべる高学年の子。目まぐるしく変わっていく子ども達の表情は、とても印象的でした。来年も又、楽しいパーティーが出来るといいですね。



クリスマスの思い出

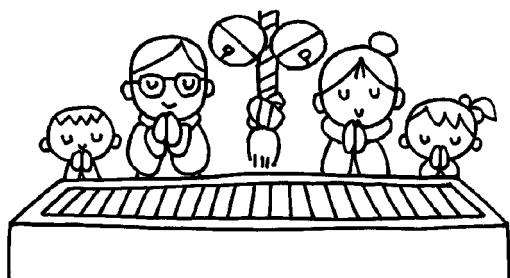
あおば寮 小2 K、Y
クリスマスがたのしかったです。
それはみんなで、パーティーをしてビンゴをやったからです。
ぼくは、ビンゴでおもちやとリュックとジュースがあたりました。とてもうれしかったです。

冬休みの思い出

あおば寮 中3 S、Y
冬休みの思い出は二つあります。
一つ目は、クリスマスです。クリスマスパーティーでは、おいしい御飯を食べた後に、ビンゴをしました。まあまあの順位で良かったです。
二つ目は、しょうがつは一日中げーむばかりやっていて、一日目、二日目は寝ないでゲームをしていました。ゲームばかりできたのですごく楽しかったです。初詣もできたのですごく充実した冬休みになりました。

冬休みを振り返って

3寮主任 菅野 貴
今年も、3寮の子ども達は元気いっぱい冬休みを過ごしました。
24日には全員でクリスマス会を行った。子ども達が、司会や乾杯役を率先して引き受けてくれて、とても盛り上がった。美味しいものを食べて、皆満足していた。
それぞれ帰省もあり、泊数はばらばらだったが、16人中12人が帰省できた。年末年始でゆっくり過ごしたり、初詣にいたり、正月を満喫したようだ。
帰省のなかった子達は、初詣にいたり、イルミネーションを見に行ったり、外食をしたりと楽しい時間を過ごす事が出来た。
大きな怪我や病気もなく、健康に新年を迎える事ができ嬉しく思う。後は終わらない宿題をかかえている子が、早く開放されるように応援したい。



楽しかった冬休み

3寮 小6 A、Y
僕が冬休み楽しかったことは、T君やJ君とポケモンカードをやったことや、T君と総合公園に行ったことです。
でも一番楽しかったことは、T君J君C君Y君とポケモンのゲームで対戦したことです。勝ったときはうれしかったけど、負けたときはものすごくやさしかったです。でもその時は、ポケモンを一体かけて戦っていたのでものすごくやさしかったです。
二番目に楽しかったことは、T君と総合公園に行ったことです。T君が面白い動画を教えてくれたのを調べて笑ったり、スマイル庄和で、卓球やバトミントンをやっけて凄く楽しかったです。
もう、学校が始まったらそんなにいけなくなるからまた、長い休みがあったら又行きたいです。

クリスマスプレゼント

3寮 小2 H、R
ぼくのクリスマスプレゼントは、トミカのガソリンスタンド、ミニカー2台、てぶくろです。トミカのガソリンスタンドがきてうれしかったです。いつもトミカであそんでいます。また、このガソリンスタンドが来てなかったら、ミニカーだけであそんでいました。
クリスマス会でろしあんおにぎりをたべました。しょっぱかったです。しおがいはいっぱいはいっていました。
クリスマスのよるは、ねられませんでした。クリスマス会もクリスマスプレゼントもたのしかったです。

9寮で初めてのクリスマス

9寮 主任 中村裕子
4月から9寮に異動になり、初めての冬休みを迎え、特に印象に残ったのが、クリスマスでした。ツリーの飾り付けから始まり、小学生はもとより、中学生も交ざり皆で飾り付けをしました。
今までは、部屋毎に行っていたクリスマス会を今年は3部屋合同で行うことにしました。部屋の飾り付けからテーブルセッティングを子どもと職員が一緒に準備の段階から楽しさやわくわく感を共有することが出来ました。
クリスマス会が始まり、皆で会食し、ビンゴ大会やじゃんけん大会で盛り上がりました。普段職員も含め全員が顔を合わせる機会が中々ないので、楽しい時間を一緒に過ごす事の大切さを改めて実感しました。
職員からの情報発信や楽しむ事の工夫の必要性も再確認出来たので、これからも自分自身も楽しみつつ、子ども達に楽しい企画を提供していきたいです。

9寮で楽しかったクリスマス会

9寮 小2 W.S

ぼくはクリスマス会でいろんなことをしました。さいしょにビンゴをしました。ビンゴは二かいせんやりました。

一かいせんは、ジュースがありました。二かいせんは、おもちゃおかしがありました。ぼくは一かいめのビンゴは、十いぐらいでした。二かいせんめは、一いでした。ふくろのなかには、バスとかめんライダーぐらいです。

つぎは、じゃんけんたいかいをしました。じゃんけんたいかいは、五いまでしかありません。十いは、H君でした。二いは、ぼくでした。三いは、しみずさんでした。四いは、R君 五いはR君でした。

ぼくは五こぐらいのおかしがありました。ビンゴとじゃんけんたいかいをするまえにごはんをたべました。ごはんは、おいしいごはんからいごはんがありました。おにくもケーキもジュースもいろんなごはんがあつておいしかったです。いい一日でした。

たのしかったクリスマス会

9寮 小2 O.H

ぼくは、クリスマス会のじゅんぴをやってふうせんをうまくできました。それでうまくクリスマス会ができてうれしかったし、びっくりしました。ビンゴやさいしょにジュースをえらんで、さいごにおもちゃにしました。あとじゃんけんたいかいをしてまけました。まけちゃたけどおもしろかったです。またビンゴやじゃんけんたいかいをやりたいです。

ぼくは、ビンゴは一いをとりたいし、じゃんけんたいかいは、一いをとりたいです。またやるときは、ぜんぶ一いをとりたいです。

まず、かざりつけはぼくとなかむらさんとN君とS君、S君、R君でかざりつけました。6人でもうまくつくりました。うれしくなって、ビンゴとかもうれしくできました。ないちゃったひともいたけどたのしかったです。またやるときに、たのしくできてうれしかったです。またやりたいです。

冬休みの思い出



5A寮 小6 I.S

私の冬休みの思い出は、お年玉です。思い出ではないと思いますが、私にとっては思い出だと思います。埼玉県の子どもがもらうお年玉の平均は、三千円だと聞いたことがあります。二万円や五万円などの多いお金を貰える人は、周りにいます。

私は、まだ子どもなのにそんなにもらっているのか、

よく思います。マネーがいっぱい貰えることはとてもうれしいです。でも、とっても高い物や親に内緒で高いカードを買ってしまってお金を使いすぎて、借金ができてしまうと思ってしまいます。子どもが、借金と言う言葉を使うのはおかしいですけど、私はお金を多く持つことは、大変だと思います。

冬休みを振り返って

6寮保育士 松森 奈緒子

12月に入った頃から、こどもたちはそわそわとし、頭の中は冬休みのイベントごとで頭がいっぱいでした。職員としては帰省の出来ない子ども達が多い中での長期休みだった為、休日の延長のような雰囲気でした。いつものように些細な喧嘩はありましたが、ころっと切り替えて楽しく遊ぶ姿や、大きな怪我や病気に見舞われなかったことがせめてもの救いでした。

そんな中で、ラウンドワンとスタミナ太郎に外出に行きました。一緒にスケートやゲームをして興奮し、「焼いてあげるね!」とお肉を美味しく食べられるように慎重に調理してくれたりといつもとは違う一面に触れ、お互いにリフレッシュできたのかなと思います。

日々の雑務に追われ、楽しく時間を共有出来ない現状をふと感じました。何てことない日常かも知れませんが、小さな事でも喜びを分かち合える時間を持つ事、日々の暮らしを丁寧に過ごしていくことの大切さを改めて感じた冬休みでした。

きせいしたこと

6寮 小3 O.H

ぼくは、きせいがふえました。土日にきせいがふえました。

きせいしたときに、ままもいっしょにゼリーをつくりました。いもうともいっしょにつくりました。

おてつだいもたくさんしています。はやくおうちにかえってみんなでくらしたいです。

努力の日

6寮 中3 S.K

私は、中学校生活で一番難関であろう入試という今後の人生が決まるかもしれないものが、徐々に近づいて来た。上尾高校を志望として日々頑張っている。なぜ、上尾高校にしたかという、テニスが強い高校であるからです。

私は、中学校からテニスを始め、毎日頑張っていました。1年から3年まで良い結果を多く残せました。しかし、一番大事な学総という大会で負けてしまいま

した。だからもっと強くなりたいと思いました。
それと将来の事を考えると、勉強にも力を入れている上尾高校が一番良いと思ったからです。

上尾高校に合格するために、この残り少ない1ヶ月の日々を悔いの残らないように過ごし、この辛い時期を乗り切って入試本番で最高の結果を出せるように頑張っていきたいと思います。



「フレンチレストラン・シャルメ」

5B寮・高1 F. A

フレンチレストラン・シャルメに11月16日に行きました。

私が行ったときは、子ども3人だったのですが、車の中では、沢山喋っていたのが、お店の中に入った途端、全員緊張からか、静かになってしまいました。でも、時間が経つにつれておしゃべりも増えて楽しく食べました。

料理はコースで一品一品出てきました。ウェイターさんが食事の度に説明をしてくれました。ですが、聞き取れないメニューや言葉でしたが、楽しく美味しく食べることができました。
良い経験ができたと思います。

フランス料理の感想

3寮 高2 Y. M

今回フランス料理をご馳走してくださり、あまり経験することもないであろう事をさせて頂きました。

分からない事も多く、不慣れな事が多い中、食事をさせて頂き得難い経験とすることができました。これで得られたものを、どこかでいかすことが出来たら良いなと思います。



まず、行って食べて見ての感想

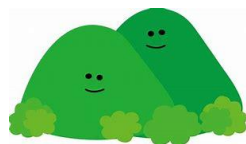
3寮 高1 T. K

自分の舌には合わないと感じました。ですが、今回

皆さんと話せて良かったです。

この企画のお陰で、久しぶりに子供の町の子どもと話すことが出来たし、将来のことも話すことも出来たと思います。

ありがとうございました。



登山について



9寮 中3 N. R

僕は、登山に行った思い出は、到着してから登山をしました。

登山では急な坂を登ったり、降りたりしてとってもきつかったです。登山が終わった後は、皆でカレー作りをしました。おかずは、唐揚げ・野菜でした。後、豚汁に猪の肉が入っていました。夜御飯は、とても美味しかったです。

その後に景色を見に行きました。とてもきれいでした。寝るときは、モンゴルテントに寝ました。屋根が窓になっていて星空がきれいでした。

2日目は、うどん作りをしました。とても難しかったけど、いい経験になりました。その後は大くすの木を見ました。とっても大きくてすごかったです。又行きたいです。

登山に行つて

6寮 小5 M. M

僕は登山に行つて良かったと思うことが二つあります。

一つ目は、カレーを作ったところです。カレーでは、にんじんなどを切ったりして、とてもおいしく作れて良かったです。

二つ目は、山を登って、体力が付いたところです。山を登って疲れたこともあったけど、なんとか山を登りきれてよかったです。

登山について

5A 小5 H. Y

私が楽しかったことは、みんなでお料理をしたところが楽しかったです。

うれしかったことは、みんなでカレーを食べたことです。むずかしかったことは、にんじんの皮をむくのがむずかしかった。

いやだったことは、ねるときに風がふいてうるさくってねむれないところです。

わたしは、いちばんうれしかったのは、みんながけがをしないで帰れたことが楽しかったです。



堂平山登山に行つて

エンジェルホーム FSW 西村洋平

新年明けましておめでとうございます。今年も児童のより良い支援のために尽力して参りますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願ひ致します。

昨年11月4日～5日にかけて、田中会長、さいたま市山岳連盟の皆様のご招待を受けて、埼玉県ときがわ町にある堂平山のハイキングに付き添いとして参加させて頂きました。

児童11名と職員3名がお世話になり、普段なかなか経験することのできない山歩きと天文台の見学などをさせて頂くことが出来ました。

何より子ども達の探求心に驚かされる2日間でした。ハイキング中も動物の痕跡や普段見かけない植物や昆虫を発見しては、山岳連盟の方に「これは何？」と積極的に聞き、山頂の芝の張った坂道では何度も滑り降りたり転がり下りたりを繰り返して、調理の場面では普段手伝いをさせてもらえない包丁や揚げ物など、非常に積極的に活動に参加していました。天文台の見学や夜の山頂からの眺めを見ているときも、星の生まれから終わり、今見えている景色は日本のどのくらいの位置にあたるのか、普段の姿からは想像もできない積極的な姿勢で学んでいました。施設内とは違う環境の中で、子ども達が積極的に様々な体験をして輝いている姿に職員も感動させられました。

食事ではなかなか食べられないイノシシ肉の豚汁をごちそうになり、宿泊は「パオ」と呼ばれるモンゴルテントに泊まる事が出来、職員も子どもたちも非日常の経験を非常に楽しむことが出来ました。

そのおかげもあってか、2か月経った今でも子どもたちからはこのハイキングの思い出話は語られ、「西村さん、また来年も行きたいね!」と次も楽しみにしている様子が見られます。

子ども達にこのように貴重な体験をさせて頂き、田中会長、さいたま市山岳連盟の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。今後とも子ども達への支援

のために皆様のお力添えを頂けると幸いです。



登山外泊

給食室調理員 北ノ内葉月

今回初めて、子ども達との一泊での外出に付き添わせてもらい、登山よりも子ども達を乗せて堂平山まで運転することに緊張しました。

途中通行止めの道もあり、予定よりも到着が遅れてしまったので、ついた時にはお昼になってしまったのですが、田中会長や山岳連盟の方がすでに用意してくださっていてすぐに食べることが出来、子ども達も喜んでいました。

登山では思っていたよりもけもの道を進んでいき、急斜面もありましたが、子ども達と一緒に転ばないように楽しく登ることが出来ました。

夜は天気も良く、堂平山山頂から星がきれいに見え、夜景ではスカイツリーまで見渡すことができました。

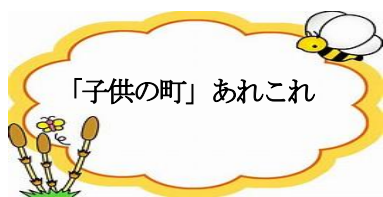
またこのような機会があれば参加させて頂ければと思います。

堂平山に登つて

5B寮 小6 H.M

私は山に登るのは2回目です。1回目に登ったのは、とてもきつい山でした。でも今回はあまりきつくなかったです。とても楽しい山登りでした。私にとってこの山登りは1つの楽しみであり、大切な行事なのです。私は次の山登りが楽しみです。大人になったら自分の力で頂上まで登ってみたいです。山でバーベキューを友達みんなでしたいし、川で遊んでみたいと思いました。次はどの山に登るかが楽しみです。





「子供の町」あれこれ

◆11月、春日部市内の居宅介護支援事業所経営者のご厚意により吉川市のフランス料理店にご招待いただき、中学3年生以上22名が5回にわたりお世話になりました。本格的なフルコースを御馳走になり、初めての本場のソースが口に合わなかった？子どもいたようですが、「本物に出会う驚き・喜び」はきっと彼らの人生の宝物になると思います。男の子は何回もお代わりをお願いしたり女の子は話に花が咲き、帰園が夜11時になったグループもあり、超ベテラン職員はヒヤヒヤしたようです。

◆11月14日、世界ボクシング3階級制覇者の八重樫東さんが来訪しました。小6年男児Sさんが近くのボクシング・フィットネスジムに通っており、主宰する方のご縁で実現したものです。当日は小中高生約30名が八重樫さんの子どもの頃の話聞き、「夢は何度変わってもいい。いつかやりたいものが見つかるし、あきらめなければなれるから」と励ましの言葉をいただきました。子どもたちはWBCチャンピオンベルトを手にして重みを感じたり、腰に巻いて走り回ったり。子どもにとって「本物に触れる機会」はとても新鮮で大切ですが、ベルトの扱いにはハラハラしました。

◆クリスマス・歳末には多くの皆さん（個人・企業・団体）から贈り物を頂戴しました。Xmas ケーキやアイス・クッキー・お菓子・玩具・文具・雑貨・児童図書・加湿器・ポータブルDVDなど。中には20年以上の長きにわたりご支援くださっている個人の方、社員会や労働組合員の方が積立てた資金で施設の希望品を贈呈してくださる企業の方、企業宛てのお歳暮品を施設宛てに寄贈して下さる企業の方などがおります。本当に「有ることが難しい」＝「有難い」ことです。子どもたちの心に皆さんの思いが確実に届くように、私達職員の上手な橋渡しが必要だと痛感しています。深謝です！

◆冬休み中に面会・外泊ともなかった子どもは3施設全体で68名、在籍数141名の

48.2%。特にエンジェルホームでは40名（69%）、男女各1寮舎が在籍14名のうち親族宅に外泊できたのは1名だけ。職員の実感として「いつもの土・日と変わらない」年末年始でした。15年前の平成14年冬は、在籍数242名で外泊率63%。

外泊できなかった子どもは89名でした。当時と比較すると、在籍数は100名少なくなったのに外泊率が31%に半減し、外泊できなかった子どもは97名と多くなったのです。子どもにとっても職員にとっても「お正月気分を味わうどころではない」と言っても過言ではない状態です。

◆外泊できない理由が8年前と比較すると大きく変化してきています。8年前は外泊できない理由が分散していました。最も多い理由は「親等からの連絡がない」21%、2番目は「外泊先がない」と「経済的理由」で約19%。「被虐待等で児相の許可が得られない」は13%程度に過ぎませんでした。近年は「被虐待等で児相の許可が得られない」が44%最も多い理由となり、3倍以上に増加したのです。

『新しい養育ビジョン』では「学童期以降の子どもの施設在所期間は原則1年以内とする」ことが提言されていますが、在籍児童の48%がお正月さえ面会・外泊できず、その理由の44%が「被虐待等で児相の許可が得られない」という実態を直視すると、児童相談所だけではなく施設も含めてどのような営みとプロセスを以て「施設在所期間は原則1年以内」を実現するのか、その道程ははかり知れなく遠いと言わざるを得ません。



H29年9月～H30年1月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

浅沼 光代	齋藤 貞子	中本 なほ子
荒井 雅子	財団法人 日本出版クラブ	株式会社並木樹脂
荒木 嗣則	坂口 三郎	日本鏡餅組合
飯島 信雄	坂崎亮二	ニュースキンジャパン&セカンドハーベスト
五十嵐 すみ	三州製菓株式会社	ネットヨタ東埼玉㈱
石井 正史	シフォンママ工房	根岸 昭博
内堀医院	庄和商工会商業部会	バスケットボールショップ スラム
遠藤 邦子	白石 栄二	長谷川 浩一
大森機械工業株式会社	杉戸町商工会青年部	ハッピーベア
岡野米菓	鈴木 アサ子	(有)花勘
沖田土木	スペース悠悠チャリティーコンサート	花子
春日部経営革新しよう会	スポーツトゥハートプロジェクト	浜友観光株式会社
春日部地区更生保護女性会	セカンドハーベスト	(株)フィリップモリスジャパン
春日部地区遊技業防犯協力会	全ヤオコー労働組合	(株)ブレナス
金子 志乃	第一生命労働組合埼玉東部支部	フレンチレストラン シャルメ
上枝 香世子	高柳 淑子	毎日新聞東京社会事業団
河島 丘征	田中 文男	正木 宏和
北田 幸一	(株)チュチュアソナ	株式会社 丸山自動車
君塚歯科医院	太平 内牧夢らんど	道永 優里
木村 雪子	太平 かすかべ夢らんど	宮本医院
県食鳥肉販売業生活衛生同業組合	太平 杉戸夢らんど	村山 拓也
小泉 雅行	太平 平方夢らんど	靖國神社
小口 鈴子	太平 エルアンドエル	山崎 晴子
小越 丈夫	太平プレイランド関宿店	ヨークマート労働組合
腰越 三恵子	東京電力労働組合 埼玉地区支部	楽園 南越谷店
株式会社 ゴルフドゥ	東京電力常備労働組合	ユーロトレーディング・ジャパン㈱
埼玉県更生保護女性連盟	利根 忠博	一般財団法人 埼玉県人会
埼玉県書店商業組合	ドラッグストア アイアム	他 匿名の方

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

子供の町後援会からお知らせ

毎年開催しております明治記念館でのチャリティーバザーですが、平成29年11月13日に無事終了いたしました。皆様のご支援を頂きまして、目標の収益を上げることができました。

後援会では、皆様の会費や寄付金・バザーの収益等で子どもたちの自立支援や進学支援を行っています。施設を出てからの生活基盤を準備することは、とても大変な事です。少しでも、子どもたちの不安を取り除いてあげたいものです。

現在、3名の大学生等が後援会からの奨学金を受けながら、自分の夢に向けて頑張っています。内2名は、今春卒業となり就職も決定しております。

また、今年度大学進学を果たした1名に「国際ソプロチミスト東京一山の手」様より、支援金を頂戴いたしました。

このようなご支援、後援会の役員・会員の皆様、職員の応援は、とても大きな支えになっています。深謝申し上げます。

*子供の町のホームページを開設しております。是非ご覧ください。

<http://kodomonomachi.jp/>